

文化学園大学で学び、希望の進路を実現した先輩たちの
がんばった”就職活動(就活)ストーリー”をご紹介します。



藤岡 二葉さん

造形学部 建築・インテリア学科 4年
インテリアデザインコース
神奈川県立金井高等学校出身

内定企業:積水ハウスリフォーム株式会社 専門技術職

事業内容:住宅リフォームの企画・設計・施工

文化学園大学を志望した理由

高校時代から理系が得意で、建築系の大学に進学しようと考えていました。高校1年ぐらいから大学を調べ始め、その時に文化学園大学を知りました。

私は建築の分野でもインテリアを中心に勉強したいと考えていたので、インテリアを軸に建築を学ぶこと、日本初のインテリアデザインコースがある文化学園大学を志望しました。他大学の建築系学部も受験しましたが、インテリアと建築を学ぶことに魅力を感じて、文化学園大学を第一志望にしました。

入学時の将来の仕事に対するイメージは

インテリアや建築を勉強したいと考えていましたが、具体的な仕事の内容まではイメージがありませんでした。大学入学後は専門的な勉強が多く、自分のやりたかった勉強をできていることが、すごく嬉しかったことを今でもよく覚えています。しかし、どんどん勉強が進んでいくと、建築模型やプレゼンボードをつくるのが、自分には合っていないのかなと感じるようになりました。デザインを考えているより、設計したり図面を書いている方がずっと楽しくて自分に合っていると感じたのです。勉強を進めていくと少しずつ自分の適性が見えてきたような気がして、やりたい仕事が企画設計に絞られていったように思います。

大学で鍛えられたプレゼンテーション力

他の学部・学科でも共通することですが、実習の課題制作が多い大学なので、私の学科も設計・模型・プレゼンボードの制作作業は大変です。企画内容を先生や仲間の前でプレゼンすることは難しいですが、その分大勢の人の前で話すことに慣れ、プレゼン力が自然と身についたと思います。授業で身につけたプレゼン力で就職活動の面接でも、落ち着いて自分の考えをまとめること、面接官の方ときちんとコミュニケーションを取ることができたと思います。

インターンシップから就職活動がスタート

3年生になり大学での就職講座も始まり、夏のインターンシップ研修を経て、その後就職活動が本格的に始まりました。私の場合は個人の設計事務所に2週間の研修、その後同じ事務所で1か月間のアルバイトをしました。実際のアパート改修のプランづくりに参加させてもらい、自分の企画や設計を提案できる機会もいただきました。設計業務の現場を経験することで、卒業後の進路を確認できました。また建設現場を見学させてもらうなど、今まで知らなかった施工管理の仕事の面白さを知り、新しい発見もあったインターンシップでした。

インターンシップ経験からの志望企業選び

インターンシップの経験でインテリア系よりも設計の仕事の方が面白いと感じたこと、また施工管理という新しい仕事の発見もあり、就職活動ターゲットの志望企業を絞り込むことができました。業務内容や労働環境を考えて大手ハウスメーカーを中心に、施工管理会社も含めて応募することにしました。内定先の積水ハウスリフォーム(株)をはじめ6社から内定をいただきましたが、インターンシップでの経験や発見からの志望企業選びが大きなポイントになったような気がします。

高校生のみなさんへ「文系の人も大丈夫です」

インテリアや建築に興味があるけれど理系科目に自信がないという人も、諦めないで文化学園大学で建築やインテリアを学んで欲しいと思います。基礎からしっかり教えてもらえるので大丈夫です。私のまわりにも文系で建築・インテリア業界を目指し頑張っている仲間がたくさんいます。夢を諦めないでください。

建築・インテリア系 資格合格率

- 一級建築士 12.7%
- 二級建築士 33.3%
- インテリアコーディネーター(二次試験)100%